

かめっ子元気号

発行:神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ

〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川1-29 東部療育ビル3階
TEL/FAX 045-441-3901 URL <https://kana-chie.com>

第74号

2024年11月発行

秋色の落ち葉が
木枯らしに踊る季節になりました
外遊びにやつてきた親子達が、
枯れ葉プールやどんぐり拾いを
楽しむ姿に
思わず頬が緩みます

今回の元気号は、
方面別交流会の様子を
掲載しました
講師・かめおかさんの
4会場ごとに自在に変わる
楽しく豊かなワークに
参加者全員がリラックスして
笑ったり、話したりの
学びの時間になりました

「聴く」は相手の時間を
ありのまま受け止めること、
自分のことも労って
体をほぐそう、という
メッセージが心に残ります。

親子のたまり場 訪問

西菅田地区を訪問しました。

緑区に隣接している菅田地区。ひろ~い
UR西菅田の集会所で開催しています。
コロナでしばらく休止していたけれど、
だんだん親子さんが増えてきたそうです。
近隣の西菅田保育園の先生がいらして
手遊びをしてくれたり、民生委員さんが
持ってきてくださったスイカをみんなで
食べたり、地域の出会いの場にもなっています。



松見第三地区を訪問しました。

広々とした会場では、子どもが走り回ったり、ダイナミックに遊ぶことができます。コロナ前は父母のためのティータイムがあったので、再開したいという思いをお聞きしました。子をみんなで見守りながら、父母が座ってお茶を飲み、おしゃべりする時間をつくりたい！
親もリラックスしてね！という温かいメッセージが伝わります



大口七島地区を訪問しました。

大口商店街に近く、お買い物などに便利な立地ながら、会場は静かな環境。

酷暑のなか、遊びに来てくれた親子に、麦茶をふるまつてくださっていました。「家族のために用意することはあっても、私のためにいただいたお茶の味は格別です」という利用者さんの声も聞こえました。
「支え手さんは穏やかな方ばかり」親子を見守る、温かいまなざしが、居心地の良いかめっ子をつくっています。





まちぐるみ♪ 子育ち・子育て応援 「みんなで聴くを磨く」

講師：かめおかゆみこ氏

中学校演劇部の外部指導員を経て、現在は「聴くを磨く」ワークショップを各地で開催

今年は本当に暑い夏でしたね。その暑さの中、たくさんの支え手の皆さんがかめっ子方面別交流会に集いました。あわせて、保育園・放課後キッズ・子育て支援者さん・地域ケアプラザスタッフなども一緒に学び合える交流会となりました。講師のかめおかゆみこさんから、その会場毎の様子や顔ぶれに合わせた様々なワークが出されて、楽しさの中から多くの学びができました。笑顔あふれるワークの後には、近隣子育て支援の支え手同士で、かめっ子アレコレ・親子を取りまくモロモロなどの真剣な話し合いや、楽しいおしゃべりも行われました。その様子をご紹介します。

神戸地域ケアプラ

背中合わせになって自由に歩きます。
言葉は交わさず、背中で相手を感じながら呼吸を合わせ繋がり合う経験をしました。

ほかには・・・
*相手の手に触れながら、自分が感じた相手のいいところを伝える。
*自分が思う自分のいいところを発表。
みんなにほめてもらう！ など



六角橋地域ケアプラザ



座っているパートナーの肩に手を置き、ゆったり揺らします。受け手は相手を信頼し、そのリズムに合わせ気持ちよくゆ~らゆら♪

ほかには・・・
*隣の人と向き合い、30秒間笑顔で見つめる。
*自分について一言。聴いた自分も同じなら、笑顔で挙手 など

心も体もリラックスした後のトークタイム
初めての人とも話が弾みました。
体験するワークの効果が実感できましたね。

- ◆支え手の繋がりも25年！
- ◆親もスマホでつながりあっている
- ◆保育園とかめっ子の繋がりもあると良いと思う
- ◆世代交代しながら長く続けている
- ◆働いている支え手もいるが、親子から元気をもらえたり、自身の楽しみとして続けたい
- ◆「ここにいるよ」の安心の場でいたいなどの様々な声が聴かれました。



『聴く』ってどういうこと？

『聴く（傾聴）』はスキルではなく、相手に気持ちを向けて「ありのまま」を受け止めることです。

言葉が、その人の思いではなく、本当の気持ちが言外に隠れていることがあります。子どもの気持ちも、人との関わりの中で様々に動き、思いを言葉にできなくても、行動で表されていることが多いですね。

聴く側になる時、心を傾けて聴こうとすると、人は自分のことを軽視してしまいがちです。集中して聴くことで緊張してしまったり、無理をしたりすることはありますか？聴く側の心と体のバランスがとても大切です。体をリラックスさせて、笑顔で脳を幸せにして、「聴く」を磨いてほしいと思います。

誰かを支援する時は、まず自分のことを労わって…
体の力を抜いて…
体をほぐして



目をつむって後方の人のサポートで歩き、誰かに受け止めてもらいます。みんなへの信頼、絶対に誰かが受け止めてくれる、を体感しました。

菅田地域ケアプラザ

ほかには・・・

- *他の人と同じではなく、自分で考えて、自分の思うまま、自由に歩く。
- *好きな食べ物を伝える。輪になった内の誰か1人が、目を合わせ丁寧に受け取る。

輪になって、「〇〇さん」と名を呼びながら想像のボールを投げます。

投げる・受け取る、を全身で表現しながら、次々とコミュニケーションのリレー♪

ほかには・・・

- *朝の出来事を話し、隣の人が同時進行で同じことを話す。
- *隣の人に想像の「プレゼント」を渡し、受け取った人は「この〇〇欲しかったの」とプレゼント内容を付け足す。次々リレーしてステキな想像のプレゼントを作る。



かなーちえ

～みんなの心に残ったキーワード～

- ★ 大声を出して笑い楽しんだ。普通だったことが、今は距離を取ったり、子どもがうるさいと言われる社会になっている。大声出していいんだと伝えたい。
- ★ 保育園に行く世帯が増えているが、たとえ一年でも親以外の人や地域とのつながりはできる。かめっ子があることは大事。
- ★ けんかしないと仲直りはできない、という言葉は印象的だった。

- ★ 以前利用していた側だったが、支え手さんがこんな学びや話し合いをしていると知らなかった。素敵な活動だと思う。
- ★ 生活につながる学びだった。相手のありのままに関心を持つことが大切だと感じた。
- ★ 口角を上げ笑顔になると、脳が幸せになって相手にも自分の健康にもいいのだなと思った。
- ★ 人同士の大変な繋がり、子育てをがんばる親子へのエッセンスが詰まっていた。

中学校・高校で「親子ふれあい体験授業」を行いました！

浦島丘中学校(10月)・栗田谷中学校(11月)・東高校(10月3区合同事業)

長年に渡り、学校、かめっ子や主任児童委員、地域の子育てに関わる多くの人と共に創ってきた親子と学生のふれあい体験授業です。

浦島丘中学校は5年ぶりの開催で、学生たちが事前の授業でおもちゃを作り、そのおもちゃで親子と一緒に遊びました。

栗田谷中学校では、過去に参加してくれた親や、上の子が学生として授業に出てお世話になったから、下の子と参加したと話す親など、長年続いているからその声が聞かれました。

東高校は鶴見区・港北区とのネットワーク事業で、多くの子育て支援に関わる人の力が掛け合わされました。

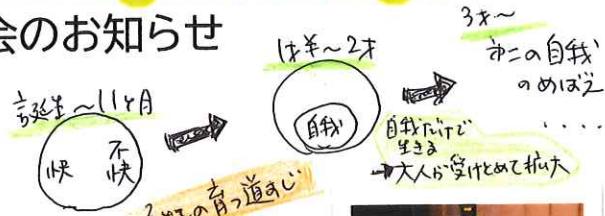
地域や学生に、子どもの姿、子育て家庭の様子を知ってもらい、教科書や机の上では感じ取れない、命にふれあう大切な時間になりました。

毎回の各クラスの授業に、電車やバスに乗って、ボランティアで駆けつてくれる親子の皆さんにも感謝感激です。次世代に寄せる親身な想いが、こうしてリレーしていくことを、しみじみと感じ入る感動の授業です。



かなーちえ区民むけ子育て講演会のお知らせ

「子どもと歩けばおもしろい ～対話と共感の子育て～」



【講師】 加藤繁美先生(山梨大学名誉教授)

【日時】 R7年1月13日(月・祝)10時～11時30分

【場所】 かなーちえホール(神奈川区民文化センター)

【対象】 子育て中の方、地域で子育て支援に関わる方 先着250名

約30年前、スタッフの子どもが幼稚園時代に、子どもの成長の道筋を、加藤先生から学びました

そして今回、かなーちえでの講演会も2度目になる貴重な機会を迎えることができました

日々、地域で親子を見守るかめっ子の支え手の皆さまと、ともに学び合えることを願っております♥

ぜひ皆様お誘いあわせの上、お越しください

申し込みは11月30日～かなーちえHPからかめっ子事業まで



【編集後記】

まちぐるみでの防災・減災の取り組みは喫緊の課題となっています。かめっ子事業では、災害後の避難所等で発散させる遊びの大切さを謳い、大きなパラバルーン(カラフルな大判布)で振ったり、もぐつたり、上に乗つたりなど、年齢にかかわらず自由に遊べる遊具)を各かめっ子さんに3年ほど前に一枚、配布しています。かめっ子での遊びにも使っていただきながらご確認いただけたら幸いです。

